

元号が変わったときだからこそ

南 裕子

4月と5月の世話人会は平成から令和へと元号が変わる時を挟んでいました。今回は2回分の所感です。担当した私が退職に伴う引っ越しのためにPC環境がかなり長い間、整わないために8月にタイのホテルでこれを書いています。遅くなって申し訳ないと思いつつ。

平成最後の世話人会では、看護未来塾第6回の勉強会の振返りをしました。詳しいことは坂下玲子世話人「ピンチをチャンスに」という世話人所感No.8に掲載されている通り、初めての兵庫会場と東京を繋ぐ大変有意義な会でした。世話人会では、参加者のアンケートへの回答について議論しました。二つの会場を結ぶことには好評で、特に塾員や参加者による討論の時間を拡大した方がよいこと、そのためには午前中からの開催も検討したらどう提案もありました。また、ご自分の体験を率直にお話くださった秋元典子世話人の臨床におけるケアの衰退についての問題提起は参加者に感動をもたらしましたが、同時に啞然とする思いもありました。参加者から良いケアを行っている現場の紹介をしてはどうかという提案もありました。世話人会では、参加者の提案は大歓迎で、さっそく次の勉強会に生かす計画もされています。

働き方改革が臨床にどのような影響を及ぼすかを看護職の労働環境の観点と患者の安全とケアの納得という観点の両面から議論をしました。医療界はいままで医療者の自己犠牲的な働き方によって患者の安全・安心が支えられてきた面があり、それを改善すべきことは長年言われてきたことです。しかし、病床数に対する看護師の数はOECDの各国と比べると極めて低いのが現状ですが、それは人口に対する病床数の多さが顕著だからでもあります。国は他の先進国に比べて長期入院者が多いことから入院期間の短縮や病床数の削減など様々な施策を行ってきましたが、病床数に対する看護師の数はOECDの他の国々と比べても低いのが続いています。ということは看護師の数は右肩上がりが増加しているといっても十分ではないので、働き方改革を急に導入することで今度は何が起こってくるのか予測がつかないという面があります。一番の懸念は、患者の安全とケアの質の低下をもたらさないかどうかである。看護師は新人からベテランまで臨床能力の観点からいえば、現場で分担のお互いの配慮はあっても、職務上の相違からみれば管理職やスペシャリスト以外には基本的にないですね。従って、新人や自分に自信がない人、また逆に意欲のある人は、自分の意思によって勤務前や後に電子カルテの点検や記録を勤務時間外で行っていると聞きます。それを勤務内ですべて済ませるということは、しわ寄せはどこに行くことになるのでしょうか。それが患者さんへのケアの時間の短縮に繋がらないことを祈るばかりです。

看護未来塾の世話人会では、そのとき取得できる保健医療福祉会の動向のニュースを共有しながら多様な看護の課題を活発に議論しています。世話人の看護の現状と未来への危機感がそれを支えています。毎月2時間の枠内では議論が尽くせないし、断片的になります。そのために看護未来塾としての未来の看護のグランドデザインを作成するために集

中のこの夏に議論をしようということになりました。9月の勉強会に素案が提案できたらというのが目標です。

ところで、個人的なことですが、考えてみれば私はアフアフ・メレイス博士の言われる「移行期」を過ごしているのだなという実感しています。4月からは無職になり、晴れて年金生活に入りました。77歳になる年ですから当たり前のことなのですが、本人としては不思議が経験をしています。名刺を作るときに、どのように自分を相手に伝えるのか工夫が必要です。いまのところ3大学の名誉教授を書いています。今後は工夫が必要かなと思っています。ちなみに名誉教授は英語では男女の名称の違いがあるとのこと最近わかりました。男性は **Professor Emeritus** ですが、女性は **Professor Emerita** らしいのです。私としてはちょっと驚きでした。Meleis 先生は **Professor Emeritus** を使われていたように思いますが、男女の違いを出さない表現は **Honorary Professor** ということもあるらしい。日本語の名称からみれば、この方が良いかもしれません。名詞ではかなり男女の違いをつける西欧の言語と違い、日本語は男女の差がないのが良い点かなと改めて思います。

ところで名誉教授は所属ではないのです。学会等の役員の肩書きでは所属が求められるので、空欄にしてくださいと伝えていますが、これも不思議です。法人化した学会等では登記のときに所属が必要なのかもしれません。学生は所属が大学ですから問題はありませんが、個人で **NPO** を作るか、起業するかしないと肩書きはないのかもしれません。思えば私は卒業後55年間余、どこかに所属しないときはなかったのだと改めて驚いています。自分では自由人のつもりだったし、生涯現役を目指している私としては所属がないからといって不自由はないのですが、自分をどう表現するかを工夫する良い機会になるなとちょっとわくわくです。現役で自由人である先輩から学びたいなと思っています。